特集 vol.6

roots shawl MIDDLE (wool)

ウールのあたたかさ

tamaki niime のウールショールは、
あたたかく、やわらかく、チクチクしない、
寒い季節に１本は持っておきたい
ショールです。

ふわっと軽く、空気を含んで。

驚くほどのやわらかさは健在。
さらに、リバーシブルで色や柄を楽しめます。

色とりどりのイッテンモノという
tamaki niime の特徴はそのまま。

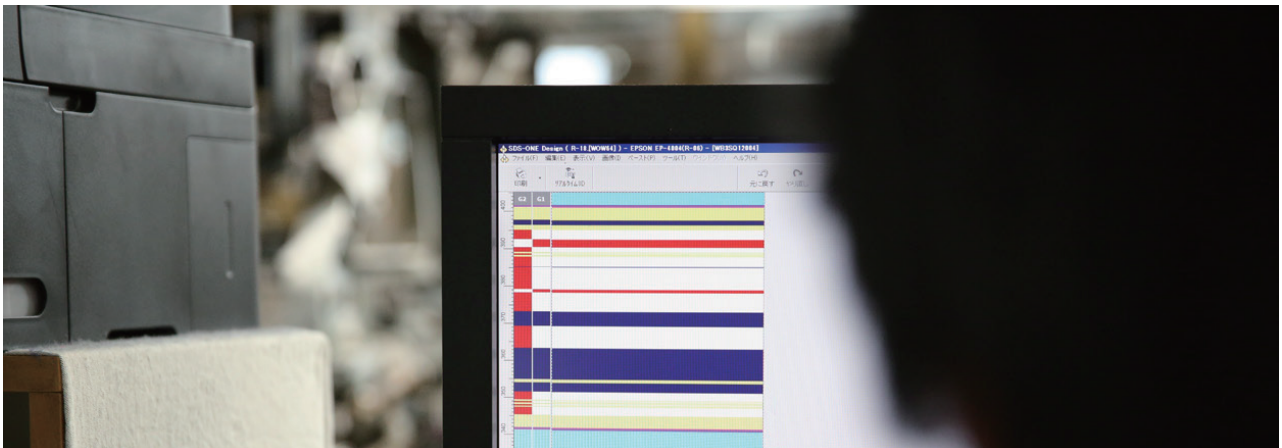
普通のマフラーに飽きている人へ。
暗くなりがちな冬服にアクセントを。
もちろんシックにも使えます。

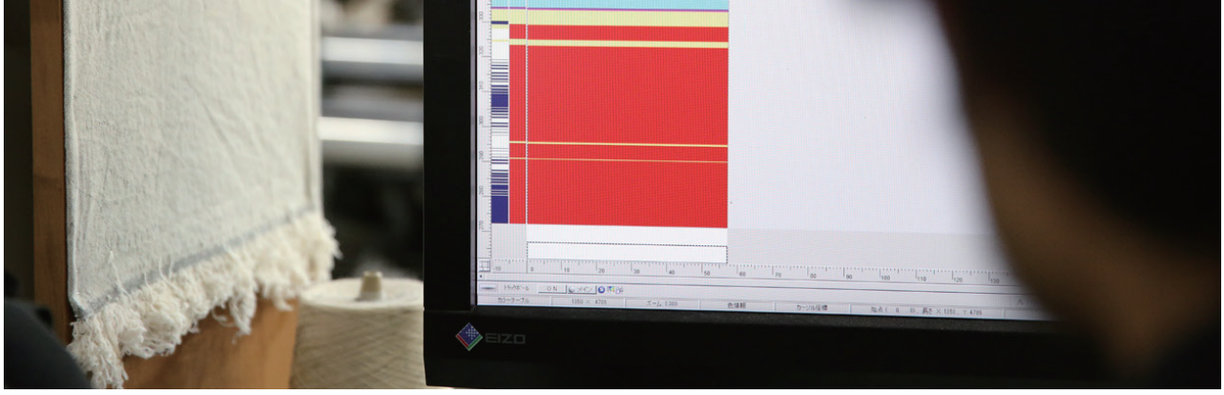
roots shawl MIDDLE のご購入はこちら

１本のショールができるまで

tamaki niime は色とりどりのイッテンモノが特徴。
それを最大限表現するために、
織るだけではなく、
自社で染色も行なっています。

ムラ染めや微妙なニュアンスの色を
丁寧に染めていきます。

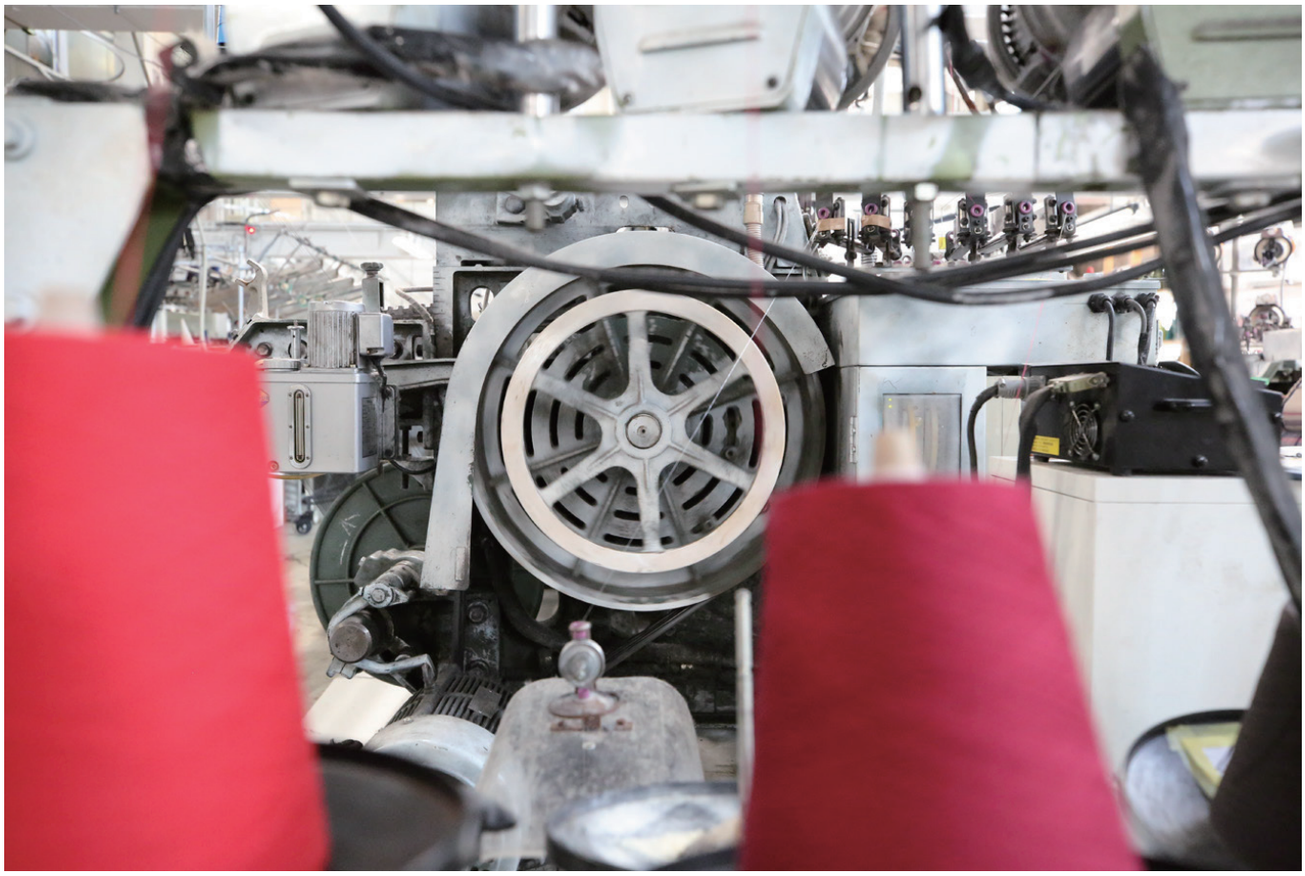




織柄のデザインはイッテンモノをつくるために
常に更新していきます。

織柄やその年のテーマに合うように
緯(よこ)糸を選び、色を組み合わせていきます。
経(たて)糸の色との相性も
緯(よこ)糸選びに大きく影響してきます。

糸をセッティングし、
織機を調整しながら織り上げていきます。
1980 年代の織機でなるべくゆっくり織ることで、
空気を含んだふわっとしたショールになります。



普通は同じ色で何百メートルも何千メートルも
織っていくものですが、
イッテンモノをつくるため、
10 メートルほどで違う色の糸に交換していきます。
その 10 メートルの中でも
色や柄の組み合わせがいろいろあり、
ひとつとして同じものにはなりません。

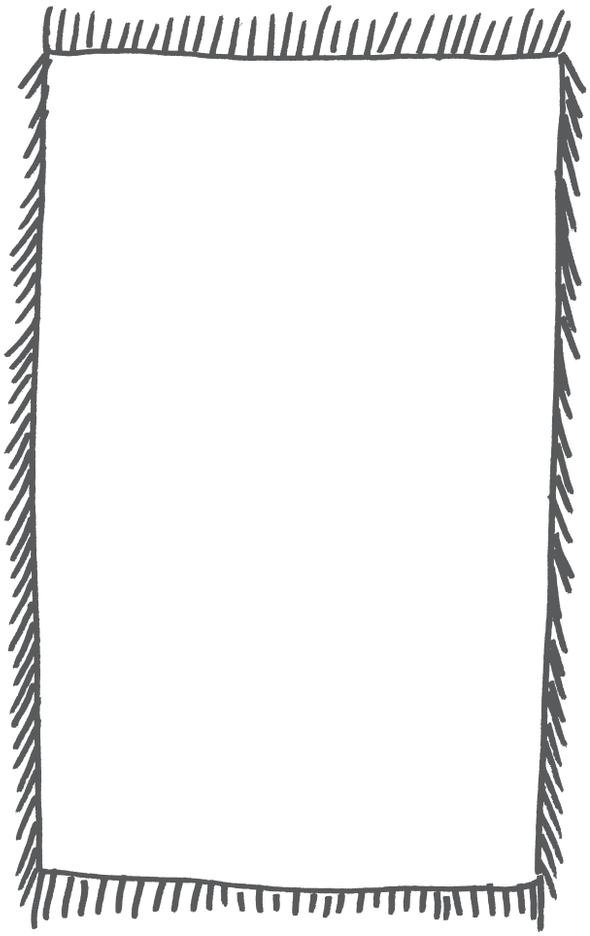
糸が切れてよく織機が止まるので、
切れた糸を結び、
調整しながらまた織りはじめます。

織り上がったらカットし、
余分な糸を切り、
端を縫製していきます。

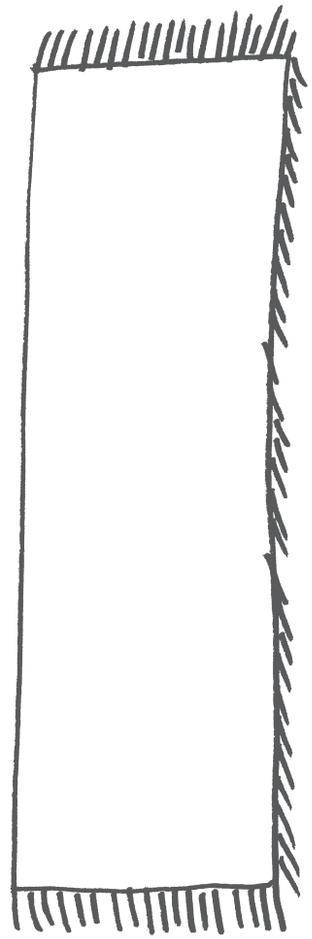
洗って天日干し。

仕上げ作業を経て完成です。

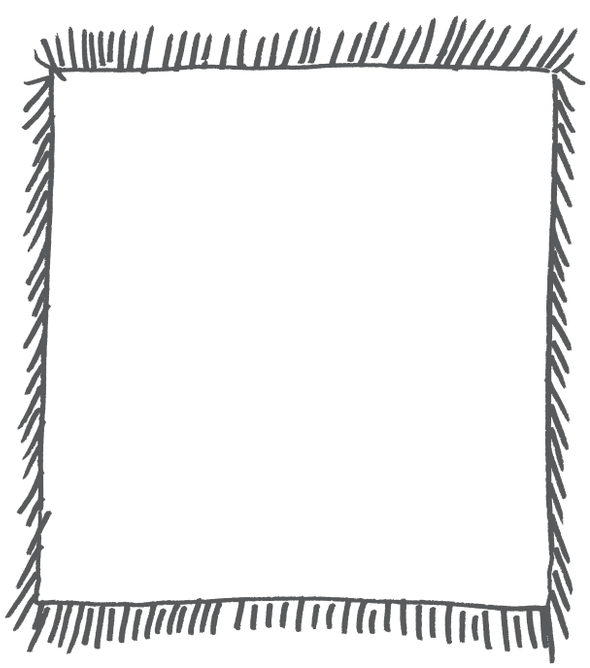
いろんな大きさと形があるので、
いろいろ試してみてくださいね！



roots shawl BIG



roots shawl MIDDLE



roots shawl SQUARE

roots shawl MIDDLE のご購入はこちら

お手入れ方法

ウール作品はウールの性質上、
ドライクリーニングに出してください。
どうしてもご家庭でお洗濯される場合は、
やさしく押し洗いしてください。